



学校だより

令和3年 12月9日

第9号

四日市市立小山田小学校

スポーツの秋が終わり、文化・芸術・食欲の秋がやってきました

10月に運動会が終わり、11月、12月は文化の秋、芸術の秋となるような行事が続きました。その時の様子を紹介します。

学び舎音楽会・観劇「あらしのよるに」

11月5日、アンサンブルロゼのみなさんを招いて、金管五重奏の演奏を聴きました。トランペットやホルン、チューバ、トロンボーンそれぞれの音色のちがいや音の出る仕組みなども説明していただきました。

また、11月18日、冒険舎の「あらしのよるに」の劇を鑑賞しました。生の舞台に子どもたちは引き込まれていました。



コミック(漫画)が寄贈されました



本年度開催予定だった「東海・北陸B-1 グランプリ」が、コロナ禍の影響で開催できなくなりました。そこで、四日市市は、グランプリ出店予定であった16団体のまちを舞台にした物語(漫画)を作成し、11月12日、学校に4冊寄贈していただきました。その寄贈の使者である「こにゅうどうくん」から図書委員さんが受け取りました。読書の秋を満喫してほしいものです。



日帰りでの自然教室

11月16日、今年度は、コロナ禍の関係で、日帰りでの自然教室となりました。午前中は、スプーンづくりを行い、午後は、米を使いカレーを、サツマイモを使い焼き芋をつくりました。火の調整が大変でしたが、美味しくいただきました。

いもコンテスト



11月26日、今年は芋煮会を行うことができなかったため、収穫したサツマイモの「いもコンテスト」を全校で行いました。各クラスで「重いでしょう」と「似てるでしょう」のサツマイモを選び、みんなで収穫を喜びました。地域の方には、育て方を教えていただいたり、お世話していただいたりしました。

ありがとうございました。



お年寄りのことを知ろう



11月30日、3、4年生は青山里会の方にお越しいただき、高齢者理解の学習をしました。

車椅子体験、お年寄の視界体験、重りをつけて行動する体験など様々な体験をさせていただきました。身近にいるお年寄りのことを思いながら体験している子どもたちの姿がありました。



思い出に残った修学旅行

今年も、コロナ禍のため、行き先は県内の伊勢・志摩方面となりました。12月1、2日、少し寒かったものの好天に恵まれ楽しい思い出を作ってきました。おかげ横丁で散策、水族館で海の動物との触れあい、魚釣りや干物づくり、最後は、志摩スペイン村でほぼ半日を過ごしました。その様子は、ホームページでも掲載しています。



まもってくれてありがとう運動



12月6日、四日市市交通安全協会から、本校は「まもってくれてありがとう運動」モデル校の指定を受けました。横断歩道を渡る際、停車してくれた運転手に対して、感謝の気持ちを示すことで、交通安全に努める運動です。

人権・いじめ・性・命について学ぶ

運営委員会は、いじめ撲滅のための運動として「ピンクシャツ運動」を展開し、6年生は、12月6日、西陵中学校で行われた「子ども人権フォーラム」に参加し、水沢小6年生と中学校1年生と、性やいじめについて討議しました。また、7日、4年生は、助産師の松岡典子さんから性・命について学びました。人権について考える期間となりました。



学校評価アンケートのお願い

本年度も保護者の方に、本校の教育活動に対してのご意見をいただき、次年度の教育活動に活かしていくための学校評価アンケートを実施します。本年度は、すぐメールのURLから、インターネット上にて回答をお願いすることとしております。 詳細は、12月7日付「学校評価アンケートのお願い」をご覧ください。